

ばんだね病院新棟工事中(2023年7月竣工予定)

新棟工事期間中、外来棟(仮設)にて診療をおこなっていますので、今まで同様にご紹介いただきますようお願いいたします。

ご不便、ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力の程お願いいたします。



WEBにて診療・検査予約がお取り頂けます

地域医療連携センターは夕診時にもご利用頂けますよう平日19:00までお電話やFAXによる診療・検査の予約申込みを受付けております。またインターネット上で空き状況の確認と予約手続きが完了する「診療・検査予約システム」(24時間対応)も整備しております。導入を希望される医療機関さまはID・パスワードを即時発行いたしますので、お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせください。

【編集発行】  藤田医科大学ばんだね病院 地域医療連携センター

【発行年月日】 2021年12月1日

〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10

TEL:052-321-8171(代表)052-323-5927・5918(地域医療連携センター直通)

FAX:052-323-5726(地域医療連携センター直通) <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL2/>



ばんだね ネットワーク

Bantane Network 40号

新任医師のご紹介・診療科紹介

平素より当院との医療連携にご指導、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

2021年10月 整形外科へ金治有彦教授、7月 眼科へ谷川篤宏准教授が赴任いたしました。医療連携室にて診療予約受付をいたしております。患者さんのご紹介をお待ちしております。

整形外科



教授 ^{かなじ ありひこ} 金治 有彦 医師

- 専門分野：人工股関節・小児股関節
- 外来日：火曜日

成人から小児までの幅広い股関節疾患・外傷に対して適切な診断と治療を行います。保存療法では投薬だけでなく運動療法や再生医療を、手術が必要な患者様には人工股関節全置換術、骨盤・大腿骨骨切り術・股関節鏡視下手術を主に行っています。

眼科

准教授 ^{たにかわ あつひろ} 谷川 篤宏 医師

- 専門分野：網膜硝子体疾患・視覚電気生理
- 外来日：月・火・木・土曜日

白内障手術だけでなく、糖尿病網膜症や網膜剥離、黄斑円孔などの網膜硝子体疾患に対する硝子体手術や、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 剤による治療(硝子体内注射)を行なっています。



医局紹介

脳神経外科局のご紹介

ご挨拶

藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科

三叉神経痛・片側顔面痙攣 専門外来開設

藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科では加藤庸子教授の下、脳動脈瘤を始めとした脳神経外科疾患の治療に精力的に取り組んで参りました。この度2020年11月より、三叉神経痛・片側顔面痙攣への神経内視鏡手術を専門とする小松文成准教授が医局員として加わり、より充実した診療体制を築くこととなりました。三叉神経痛・片側顔面痙攣への神経内視鏡手術を国内で他施設に先駆けて導入することに伴い、全国的にも希少な三叉神経痛・片側顔面痙攣専門外来を開設する運びとなりました。日頃の診療の中に、三叉神経痛・片側顔面痙攣症例でお困りになられることもあるかと存じます。専門外来ではCT、MRIを立体的に融合した3D fusion imageにて適切な診断を行い、必要に応じ小開頭による低侵襲な神経内視鏡治療まで包括的な診療を提供する所在でございます。低侵襲手術により、早期退院が可能となっております。お気軽にご相談頂ければ幸いです。

未破裂脳動脈瘤を中心に全国から多数の症例が集まり、難易度の高い手術においても知識・技術を高め、1例ずつ技量の向上に努めております。手術症例は毎年増加傾向にあり、血管内手術、内視鏡手術といった低侵襲治療を積極的に取り入れています。医局員6名と脳神経外科専属NP(ナースプラクティショナー)2名にて臨床、教育、研究に尽力しております。

脳神経外科 教授 加藤 庸子

年次毎手術症例数推移

	2017	2018	2019	2020
未破裂脳動脈瘤	112	130	157	139
破裂脳動脈瘤	4	6	6	9
CEA	2	16	14	23
バイパス	4	12	14	23
脳腫瘍	9	16	28	37
MVD:三叉神経痛、片側顔面痙攣	12	26	40	40
脊椎	12	24	11	54
外傷	2	2	5	6
外傷CSDH	33	44	62	60
水頭症	35	56	48	51
血管内コイル塞栓	32	18	38	55
血管内CAS	10	13	21	36
その他多数あり省略				
総数	297	410	497	584

特性

- Fujita脳神経外科友の会による術後患者の交流・教育体制
- アジアを中心とした海外医療機関への教育・支援・国際交流
- テレビ、雑誌等メディアへの出演多数

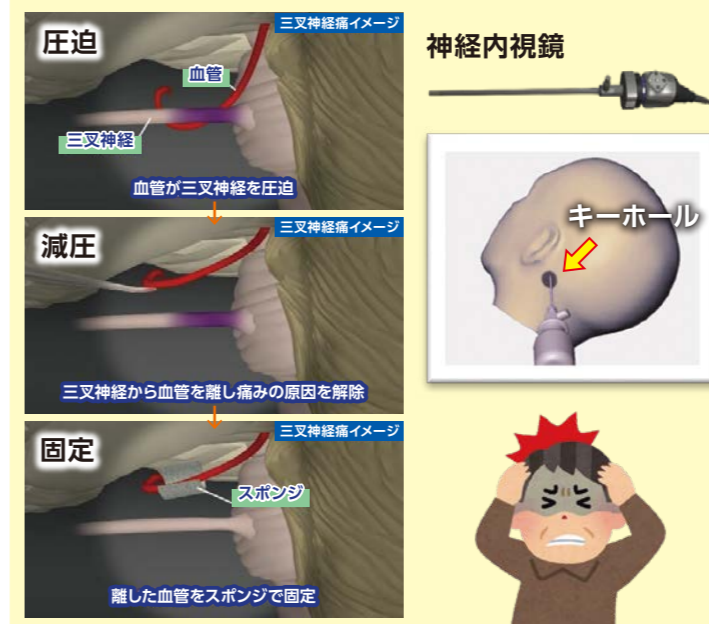


最先端治療のご紹介

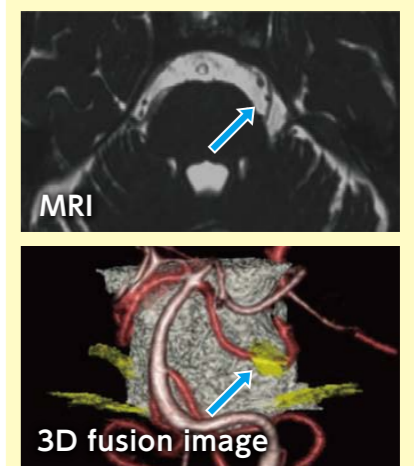
三叉神経痛・片側顔面痙攣への 内視鏡下微小血管減圧術

三叉神経痛・片側顔面痙攣の根本的治療である『微小血管減圧術(ジャネット手術)』を神経内視鏡下に実施することで、良好な視野と低侵襲性を両立させ高い治療効果が得られます。ばんだね病院では国内の他施設に先行して内視鏡手術を導入し、良好な治療成績を取っています。三叉神経痛、片側顔面痙攣の症例がございましたら、ばんだね病院脳神経外科三叉神経痛・片側顔面痙攣専門外来へお気軽にご相談下さい。宜しくお願い申し上げます。

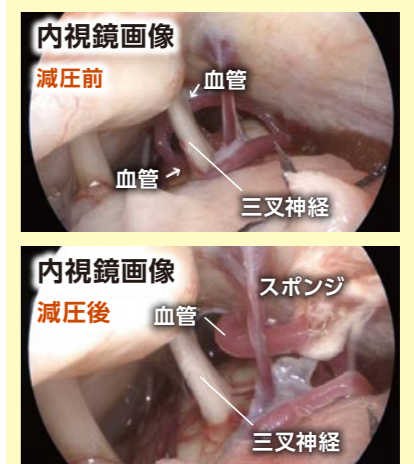
シエマ



画像診断



内視鏡手術画像



三叉神経痛・片側顔面痙攣専門外来



脳神経外科
准教授 小松 文成



脳神経外科
教授 加藤 庸子

毎週月・水曜日 午前 担当 小松文成、加藤庸子
初診は毎週月曜日から土曜日 午前 受付可 (祝日を除く)

藤田医科大学ばんだね病院 地域医療連携センター

- TEL: 052-323-5918
- FAX: 052-323-5726
- Email: hp2m-net@fujita-hu.ac.jp

